国土交通省
北陸地方整備局

新たな北陸圏広域地方計画　基本的な考え方　概要

＜現状と課題＞

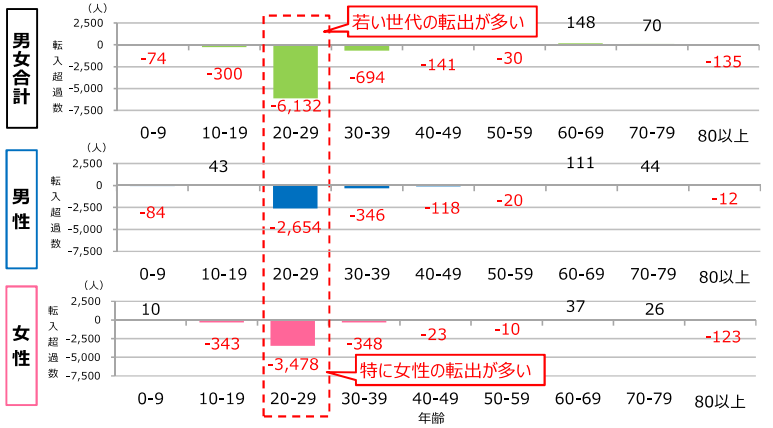
現状

・全国平均より進む人口減少・少子高齢化(若者の圏外流出等)
・三大都市圏から等距離にある地理的条件の優位性
・自然、歴史、食文化等豊富な地域資源　　など

課題

①多様なニーズに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の形成
②多様で個性ある地域の持続的発展
③自然災害への対応と自然環境との調和
④地理的優位性を活かした産業の強化
⑤太平洋側の災害リスクの高まりにともなう本社機能移転等への積極的な対応
⑥圏域外の人との多様な関係構築と新しい交流圏の形成

■北陸圏の転入超過数(2022年1月～12月)



※転入超過数は、北陸圏への転入者数と北陸圏からの転出者数の差分(マイナスは転出超過)
データ：住民基本台帳人口移動報告(総務省)

＜将来像＞

住み心地・居心地よく、多彩な魅力を活かして躍動する北陸

＜目標＞

【目標１】北陸圏での魅力ある暮らしの実現　～生活環境・雇用環境の充実と安全・安心かつ環境と調和した地域づくり～
①北陸圏の暮らしに磨きをかける新しい暮らし方・働き方の実現、②都市と農山漁村が共生した豊かさを実感できる地域生活圏の実現、③自然災害に強い暮らしの実現、④美しい豊かな自然環境の保全

【目標２】競争力のある産業の育成　～北陸における経済・生産の一層の活性化～
①活力に満ちた農林水産業の形成、②競争力と魅力がある産業の形成・活性化、③価値を生み出す力の向上と新たな需要を取り込む地域産業の活性化

【目標３】日本海側の中枢圏域の形成　～日本海側圏域及び太平洋側圏域との連携強化～
①北陸圏の社会経済活動を支える信頼性の高いネットワークの形成

【目標４】交流・関係人口の創出　～北陸の魅力を活かした国内外との交流・関係の創出～
①北陸圏の魅力を活かした観光の活性化、②三大都市圏等との新たな交流、③様々な人とつながる北陸圏